

読者のひろば



読者の皆様からいただいたお便りの中から、ご意見や情報などを紹介します。

収

穫シーズン(表りの秋)、忙しい時期ですね。一年間分のおいしいお米。色づいてとてもきれいです。川東の田んぼではないでしょうか。川東の八月口説踊り、私も小さい時に見た覚えがあります。懐かしいです。池の水を抜いて魚をとった事があります。写真を見てとても懐かしくなりました。これからもずっと続いてほしいです。(T・Tさん・女性)

八月口説踊りは五穀豊穰を祈る市無形民俗文化財で、川東町八月口説踊保存会の皆さんが保存と継承を目的に活動しています。伝統文化は、先人たちの知恵や技術、想いなどにより築き上げられてきたものです。中には高齢化や後継者不足などにより途絶えてしまったものもあります。地域の誇りを守り、自分たちのルーツを知りアイデンティティを育むため、伝統文化をみんなで継承し次の世代へ伝えていきたいと思います。

後

期高齢になり、グラウンドゴルフ、サロンと楽しんでいますが、健康寿命を延ばす為、食生活、運動、脳トレと出来るだけ人の世話にならないよう、自分自身の体作り、ストレスを溜めない、笑顔で楽しく日々過ごしています。これもいろいろな活動があるからと、ありがたく思っています。ひとりぼっちにならないよう利用しましょう。(S・Nさん・女性)

健康寿命とは、健康上の問題で日常生活が制限されずに生活できる期間をいいます。医学の進歩とともに平均寿命は更に延びると予想され、同様に健康寿命も延ばさなければ「健康でない期間」が長くなります。体と頭を動かし食生活に気を付けて笑顔で生活することが、健康寿命を延ばす秘訣。また、人と話すことも脳に刺激を与えるポイントです。孤独を避け笑顔で過ごせば、自然と健康になっていくはずですよ。

夏

休みに、久しぶりに鹿屋の実家に帰省しました。今回は同じ職場の方々と、鹿屋の「戦跡を訪れる」というのが目的の帰省でもありました。小塚公園の慰霊塔をスタートに桜花の碑・野里国民学校跡、そして鹿屋航空基地史料館を訪ねました。ガイドの方が特攻隊の方の生い立ちや出撃するまでの事を詳しく教えてくださり、あらためて命の重さを感じ、戦争は決して起こってはならないものだと思っています。(わくわくさん・女性)

鹿屋市には、太平洋戦争時に笠野原・鹿屋・串良の3か所に飛行場が存在し、日本で最も多くの特攻隊員が出撃した歴史があり、戦中・戦後の戦跡が数多く残されています。鹿屋海軍航空基地からは908人、串良海軍航空基地からは363人の特攻隊員が出撃し、その尊い命を失いました。戦争の悲惨な歴史を振り返り貴重な遺産を未来へ引き継いでいくことが、特攻の歴史を持つ本市に課せられた責任と使命であると認識しています。そのために本市では、戦跡の保存をはじめ、ツアーや修学旅行の招致、平和学習ガイドの育成・認定、VRコンテンツの設置などに取り組んでいます。これからも、平和の尊さと命の大切さをしっかりと全国に発信していきます。

喜

寿を迎えた今、広報かやや新聞の隅々まで目を通すことのできる暮らしとなり、頭の体操と思つて新聞の社説を書き写し、その日の出来事も振り返り、楽しんで書いております。紙面から色々な方の活動や考え方を知る機会になり、私の心も少し豊かになったような気がします。10月号の「ルリモンハナバチ」、ダマスクの風で会ったことがあります。戦争のない平和で幸せな毎日を願うばかりです。(K・Tさん・女性)

新聞の社説は様々な時事問題に対する社の意見等が書かれたもので、考え方のひとつとして役に立つものです。また、書き写しは論理的思考や記憶力、語彙力の向上が認められるそうです。K・Tさんが広報かやのの記事を書き写したくなるように、皆が楽しい、ためになる記事を掲載できるよう努力していきます。

フォトネタ!



田崎町のイチヨウ

肌寒くなる季節、田崎多目的運動広場や田崎みどりの広場のイチヨウたちが色付き始めました。並木道の黄色の絨毯をゆつたりと歩いてみてはいかがですか。